



菱沼あゆ美 議員
(公明党)

問 命を守る
まちの安全対策を

各地の用排水路で子どもの転落事故が起きている。市で総合点検を行い、柵などの安全対策を講じては。また、白岡駅の自由通路の東口側は雨天時に水がたまり、転倒する人が後を絶たない。早急に滑り止め対策と注意表示の取付けを行うべきと考えるが、いかがか。

答 現場状況に適した
対策を検討していく

日常業務の中で用排水路や柵等の点検を行い、破損箇所は早急に修繕作業を実施する。水辺の安全について、広報やチラシなどの啓発活動についても検討していく。駅自由通路に注意喚起の貼紙を設置するとともに、現場状況にあわせ滑り止め対応を検討していく。

問 こもれびの森の
魅力向上を

感染症対策にもなる非接触で貸出しができる電子書籍を扱ってはどうか。また、ギャラリーで個人の収集品を展示する企画をして、利用者の裾野を広げては。レストランやカフェの要望が多い。定期的にキッチンカーを呼び、滞在しやすい魅力を増やしてはどうか。

答 魅力向上のための取組を
進めていく

現在の図書収容率は7割弱であるため、実物の資料の収集に力を入れていく。ギャラリーは創作活動の発表の場であることや現状の利用頻度から収集品の展示は困難である。利便性の向上と賑わいの創出のため、キッチンカー導入の仕組みづくりを検討していく。



中山廣子 議員
(公明党)

問 子育て世帯への包括的な
支援の重要性

国は、「こどもまんなか社会」を目指しているが本市の方針は。また、産後間もない母親は悩みや必要な支援が多くある。母親の心に寄り添った支援プランの作成や、家事・育児のサポートができる産後ドゥーラの派遣事業と人材育成に取り組んではいかがか。

答 引き続き、子育て支援の
充実を進める

子育てに関する負担を軽減するために、引き続き、子どもを安心して産み育てることができる地域社会を目指し、子育て支援の充実を進める。また、事業を実施する場合、今後とも、現状のメニュー活用で対応するほか、人材の確保を考慮し、民間への委託も考える。

問 大人も子どもも楽しめる
スケートパーク

スケートパークは、多くの子どもたちに運動する機会と楽しさを与え、愛好者や若者世代を中心に幅広い年齢層の方々が、技術の向上や健康維持、コミュニケーションの場として活用できる魅力的な場所である。本市でもスケートパークを整備してはいかがか。

答 機運の高まりをみて
調査・研究していく

既存の公園を改修してスケートパークを設置する計画は現在のところない。また、既存の調整池を改修して対応することも難しい。今後は、市民からのスケートパーク設置の要望や、機運の高まりがみられた場合において調査・研究していく。

